



令和元年9月分 大分税関支署管内貿易概況

令和元年11月8日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は587.8億円、前年同月比3.4%減、7か月連続のマイナス
石油製品、船舶類、鉄鋼などが減少

荷役機械、銅及び同合金、有機化合物などが増加

輸入額は976.2億円、前年同月比10.0%減、4か月連続のマイナス
石炭、液化天然ガス、揮発油などが減少
鉄鉱石、原油及び粗油などが増加

主要品目

(単位：百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	10,057	108.4	17.1	鉄鉱石	21,669	153.7	22.2
鉄鋼	14,132	93.8	24.0	銅鉱	20,447	96.1	20.9
銅及び同合金	11,072	117.4	18.8	石炭	9,054	53.2	9.3
事務用機器	4,990	99.9	8.5	原油及び粗油	23,392	115.1	24.0
映像機器	8,411	92.3	14.3	揮発油	8,966	68.0	9.2
船舶類	2,403	69.2	4.1	液化天然ガス	3,755	35.4	3.8

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

大分) 輸出は555.1億円、前年同月比1.9%減。石油製品、鉄鋼、映像機器などが減少、荷役機械、銅及び同合金、有機化合物などが増加
輸入は963.1億円、前年同月比9.6%減。石炭、液化天然ガス、揮発油などが減少、鉄鉱石、原油及び粗油などが増加

佐伯) 輸出は24.8億円、前年同月比27.1倍。船舶類が全増、木材が減少
輸入は5.8億円、前年同月比34.4%減。船舶類、石こうが全減、植物性油かすが増加、植物性原材料が全増

津久見) 輸出は7.9億円、前年同月比81.1%減。船舶類が全減、石灰石が減少、セメントなどが増加
輸入は7.3億円、前年同月比29.5%減。石油コークスが全減、石炭、アルコール飲料が増加

大分 輸出実績なし
空港) 輸入実績なし

港名(通関官署)

(単位：百万円、%)

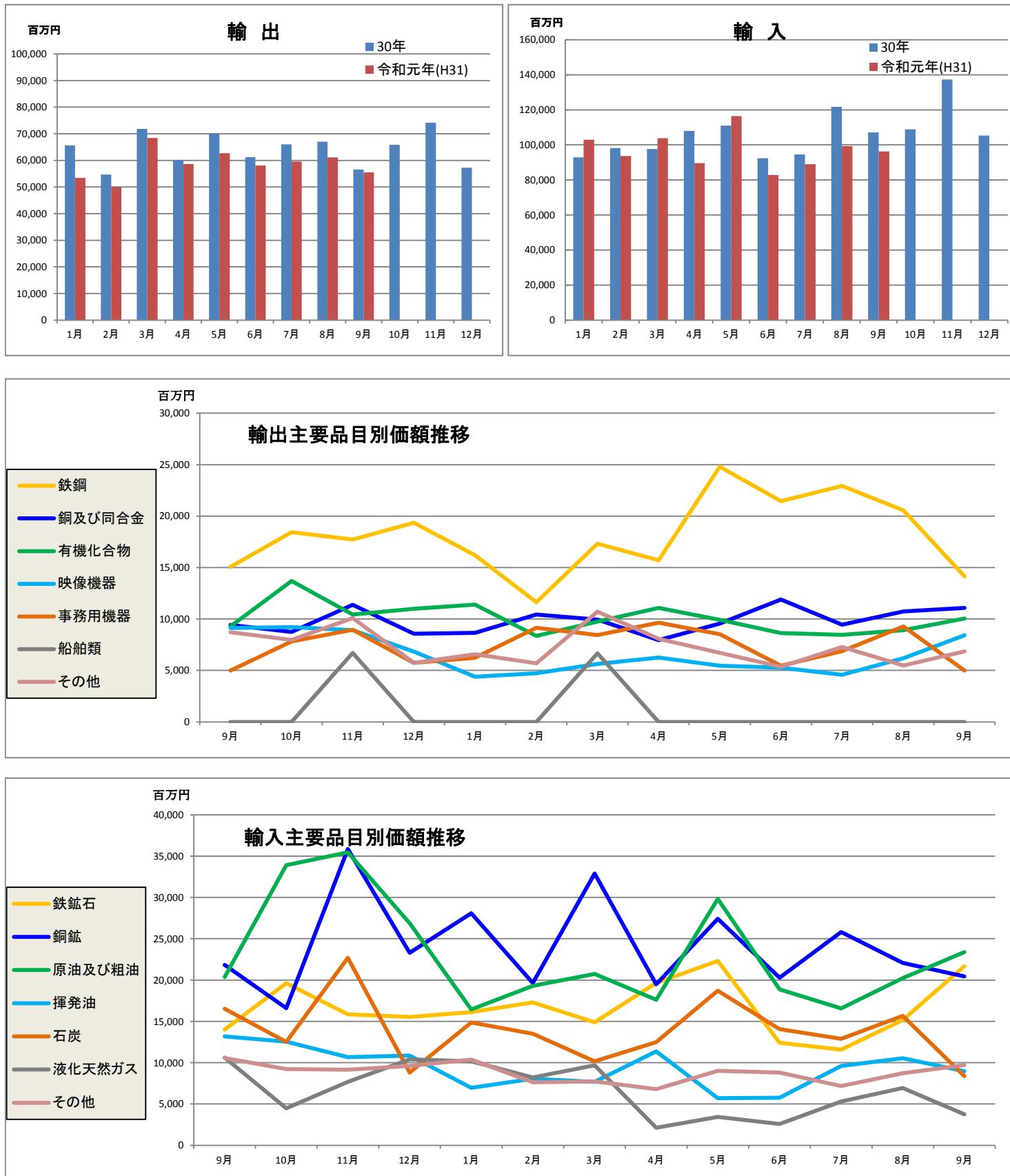
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額
大分(大分)	55,513	98.1	▲	10か月連続のマイナス	96,308	90.4	▲	40,795
佐伯(佐伯)	2,479	2,705.5	▲	3か月連続のプラス	582	65.6	▲	1,896
津久見(津久見)	789	18.9	▲	2か月ぶりのマイナス	734	70.5	▲	55
大分空港(大分空港)	-	-			-	全減		-
大分県	58,781	96.6	▲	7か月連続のマイナス	97,624	90.0	▲	38,844

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>